

## 映画の小箱

夫と新妻と先妻と、先妻の子供2人という家族が、さまざまな葛藤と愛憎の中で、個々の存在を尊重し、幸せのあり方を探し求めていく。

『グッドナイト・ムーン』

離婚、再婚、2人の子供…  
そんな家族の幸せのあり方

金丸弘美=文  
text by Hiromi Kanamaru

ここに新しい家族を見た。今の時代に呼吸する家族。妻が夫が子供たちが、それぞれに個性をもち、お互いの生きかたを尊重し合い、認め合う。一人一人の個人が個人であるという人格を認め合って生きる家族。

そこには、これまでのように血縁や家名に縛られることなく、まして会社の仕事に左右されることもない、自分の個性や生きかたを重んじ、自由でありたいと願う人たちが一つの屋根の下にいる。

しかし、そこには個人の自主性を明確に確立し、家族の個人々人を重んじながらも、同時にお互いに喜びも苦しみも分かち合い、もぐえ泣きながら、今までになかった新たな家族を築き、生み出していく姿がある。それはまるで新たな生命体が誕生するかのようにもみえる。いや、家族というものが、人が生き営む基本ならば、まさに新生命の誕生と言っているのかもしれない。

ニューヨークの洒落たアパートメントの朝。コマーシャル写真の女性カメラマンのイザベル（ジュリア・ロバート）は、七歳の男の子ベンの朝の支度におおわらわだ。ベンは部屋中を駆け回り、なかなか服も着てくれない。十二歳の女の子のアンナは、イザベルに反発して、ろくに口も利いてくれない。

実はベンはアンナもイザベルの子供ではない。同様している弁護士ルーク（エド・ハリス）と先妻ジャッキー（スーザン・サラランド）の子供なのだ。

子供たちの住居は父親と新しい恋人のもとだが、学校への送り迎えは実母ジャッキー。そして子供たちは月のうち何日かは、週末をジャッキーのもとで過ごすことになる。

と向かって言うほどに嫌悪もあらわだ。

ベンは、やっぱりばかりで、

イザベルの言うことなど聞いてくれない。

ルークは、それでもイザベルと、子供たちの関係がうまくいくことを祈り、

一緒に暮らしたいと思っている。

だが、ルークは、アンナになぜジャッキーと暮らせないのかと、言及される。ルークはジャッキーを交えて、子供たちに話すのだ。ママとパパ二人がお互いに話し合い、生活も生きかたも違い、別々に暮らすことを選択したことを。

なんとか新しい生活を築きたいイザベルだが、自分の仕事が多忙とあって、十分に子供たちを世話してやれない気持ちがある。あるとき、子供たちをセントラルパークのロケに連れていく。撮影の間は、公園で遊んでもらうつもりが、ベンが迷子になり警察に保護された。それを知ったジャッキーは激怒し、子供を知らない女性に教育は任せられないと、イザベルを非難。裁判に持ち込むと言う。しかし、家族の裁判の無意味さを知っているルークは、どうも裁判だけは避けて、もう一度、チャンスを与えてほしいと、ジャッキーに懇願するのだ。



# 日本刀名品専門店

日本刀  
銀座長州屋



鎌倉・南北朝時代から室町戦国時代、さらに江戸時代後期幕末までの刀剣・刀装具等武家美術を常設展示販売。また、刀剣に関するすべてのご相談に応じております。

刀剣研究販売情報誌 月刊「銀座情報」発行見本誌無料贈呈 お申し込みは下記LG係迄

在庫品の一例

- 刀 一 福岡一文字 鎌倉時代 重要刀剣
- 刀 備前国住長船係右衛門尉清光 重要刀剣
- 永禄三年八月吉日
- 刀 肥前国河内守正廣 龍彫刻入 重要刀剣
- 江戸時代 太刀拵付 重要刀剣
- 脇差 備前国長船光忠 徳川將軍家伝来 重要刀剣
- 鎌倉時代 拵入 重要刀剣
- 短刀 米国俊 鎌倉時代 重要刀剣
- 短刀 越前国康継 初代 葵紋金具拵入 重要刀剣
- 江戸時代
- 刀装具 理忠明寿・信家・夏雄・一乗・安親

〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-4  
TEL.03-3541-8371(代)

フリーダイヤル ☎

0120-123622

株式会社 銀座長州屋



こうして、ぎくしゃくしながらも、父親であり夫であるルークと、新妻になるキャリアガールのイザベル、そして母であり先妻のジャッキー、二人の母親のもとを行き交い戸惑う子供たちという五人の新たな生活が始まる。イザベルは、腹を痛めた母ジャッキーに負い目を感じ、だからこそ子供に深くかわろうとする。たとえ仕事を犠牲にしようとも、ベント遊びを分かち合い、アンナの恋愛問題にジャッキーは、イザベルの子供の教育や生

活のあり方に批判的だ。しかし、子供がイザベルになつときはじめたとき嫉妬をおぼえる。やがてイザベルとジャッキーは、お互いを面と向かつて痛烈に非難する。ところが、ある事件を契機に、お互いの立場や存在を認め合い始め、歩み寄りを始めるのだ。ジャッキーはイザベルと二人だけで、話し合う。ジャッキーはイザベルに語る。「私は過去の母。あなたは未来の母」そこには子供を含めた、将来の幸せを求めるとき、それぞれの役割と生きかたを認め合ったゆえの言葉があった。個人の自立を深めていったゆえの葛藤、そこから生まれた愛憎、そして新たな旅立ち。ここには離婚が増えた現状のなかで、たんなる離婚の問題や、家族はどうあるべきかといった理屈をはるかに超えた存在がある。それぞれが個人であり、個人であることゆえの痛み、苦しみがあり、そして、だからこそ見えてくる幸せのあり方として、個人が新しい家族の一つ一つの柱になっていくという、まったくこれまでは違った家族のあり方が、提示されたかのようだ。

## 『グッドナイト・ムーン』STEPMOM

(1998年 アメリカ映画 ソニーピクチャーズ・エンタテインメント配給)

監督: クリス・コロンバス

出演: ジュリア・ロバーツ/スーザン・サラドン/エド・ハリス/  
ジェナ・マローン/リーアム・エイケン

(丸の内ピカデリー他、松竹東急洋画系にて公開中)